

勤務する父親二十五名と子ども三十六名を対象として六回の事業が展開されました。

その中には「子どもの職場見学」により父親の働く姿を通して子どもが父親の存在感を認識する機会を与えたり、共同作業としての料理教室、さらには史跡や人物等から白河市の歴史を探索する内容が含まれており、最終回では那須甲子少年自然の家での一泊二日の宿泊研修による親子でのふれあい活動が実施されました。

参加者の感想としては、日頃父と子が共有する時間がいかに少ないかを実感し、貴重な体験であったことを感謝するとともに、このような機会の提供をさらに望む声が多くありました。特に、父親の働く姿を見ることの反響の大きさが親にも子にも同様にあったことはこの事業の大きな収穫でした。

さらに、家庭教育に関する講演や講義を父親が聞くことで、家庭での役割やその責任を理解することができ、あわせて自然の家での宿泊研修や親子料理教室等の活動を通して、今までの生活を振り返り、子どもとふれあうことの大切さや父親に期待される子育ての在り方等を十分に感じ取ることができたように思われます。

四、事業の成果や今後の課題

従来から行われていた企業内家庭教育学級は、第一に講座を実施する企業の協力が不可欠でしたが、本事業が成果をあげるためにも企業との連携・協力が必要となります。

本年度の事業に当たっては、いずれの市町村の企業においても企業主がその趣旨を理解し従業員に参加について協力的であったことが成功の大きな要因となりました。

民間企業は第一に生産性の向上や他企業との競争という厳しい状況の中におかれ、そのような状況の中でこのような事業を受け入れることにはかなりの困難な点があったと思われます。参加者としても休日開催や夜間の開催希望が多く、勤務時間内に実施することへの抵抗がまだ残っているようです。

父親として、家庭教育の大切さや役割を理解してもこのような事業に参加する時間的余裕がないというのが実態ではないかと思われまます。

この種の事業の実施にあたっては社会状況を十分考慮して進めなくてはならないが、週休二日制の普及をはじめとする社会的背景や家庭をめぐるさまざまな状況を踏まえるとき、困難を克服して事業を実施する姿勢が今後とも必要ではないでしょうか。

また、この事業が全国紙、地方紙、市町村の広報紙等で先導的な試みとして大きく報道され、県民に父親の家庭教育での重要性について広く啓発することに役立ったことは大きな成果としてあげられます。

平成6年度 父親の家庭教育参加支援事業内容（白河市）

事業名	父親の家庭教育参加支援事業						
対象	企業勤務者(父と子25組)						
人数	父親 25名	子供36名					
開設期間	年間6回 7月22日～11月6日	場所	白河市文化センター・企業各社・白河市内の史跡・中央公民館・那須甲子少年自然の家				
事業のねらい	子供との交流が少ない父親を対象として職場内家庭教育講座開設事業を実施し父親の家庭教育への参加の重要性について理解と関心を深めることにより父親の家庭教育への参加を支援する。						
講師	5人						
事業内容等	回数	月/日	事業内容	参加者	場所及び事業方法	講師氏名	時間
	1	7/22(金)	開講式	父親	東京配電器株式会社		1
	2	7/30(土)	講演会	父親	文化センター	元日本テレビアナウンサー 小林完吾	2
	3	8/19(金)	子供の職場見学(子供の史跡見学)	親子	各企業見学	各企業担当者	2 2
	4	9/18(日)	親子料理教室	親子	中央公民館実技	料理研究家 穂積 いずみ	3
	5	10/16(日)	白河の歴史探案(芭蕉ゆかりの地)	父親	白河市内見学・講義	市文化財保護審議会委員 岡崎 仁	3
	6	11/5・6(土・日)	親子でふれあう(一泊二日)	父親子供	那須甲子自然の家	服部業務課長レク指導員	1泊 2日
	7	11/6(日)	閉講式	父親子供	那須甲子自然の家		1
資料	教育委員会で準備する。						

「お父さん教室」活動計画（国見町）

回	日時場所	活動及び内容	備考
1	12月13日(火) 16:30～ 国見電子会議室	「開講式」 「講演」 「絵は子供の心の窓」 福島女子短期大学助教授 日黒 衛先生	開講式では今後の活動についての話があります。日黒先生は児童画の専門家、絵を通して子供の心理を探る話が開けるといいます。
2	12月23日(金) 10:00～ 文化センター	「お父さん、おやつに挑戦」 ・親子でのおやつ作り ・会食 鎌田小学校栄養士 杉崎 一江先生	料理が得意なお父さんも苦手なお父さんも子供と一緒ににおやつ作り挑戦してみましよう。きっとおいしいおやつができるでしょう。
3	1月8日(日) 9:00～ 小鳥の森他	「自然観察」 ・小鳥の森での野鳥観察 ・阿武隈川での白鳥観察 ・福島市児童文化センター見学	冬は野鳥観察に最適な季節。小鳥の森などで野鳥を観察、自然に親しみましよう。児童文化センターでの見学もします。
4	1月22日(日) 10:00～ 文化センター	「親子でスポーツ」 ・グラウンドゴルフ ・インディアカ ・スポーツゲーム	寒さに負けず、元気にスポーツをしましょう。ニュースポーツと呼ばれる種目も経験し、親子でいい汗を流しましょう。
5	1月25日(水) 16:30～ 国見電子会議室	「講演」 「障害児と家庭教育」 上原小学校こぼの学級 野木 孝先生 「閉講式」	野木先生は障害児教育の専門家です。心身に障害のある子供の家庭での教育のありかたなどについて詳しい話が聞けるといいます。